

コスト・ラム ॥ कस्तौ राम्री

2008年9月20日発行



ビシュヌさんのあいさつ
(8.10 歓迎会風景)



ビシュヌさん
ラジェッシュさん
ビルさん歓迎会
出席者記念撮影

ブジュン村に索道設置の計画！

＝ブジュン村点灯10周年事業＝

ブジュン村小型水力発電所の完成から
2009年12月で10周年を迎えます。
徳島ネパール友好協会では、この点灯10
年目にあたり記念事業を企画、提案しております。

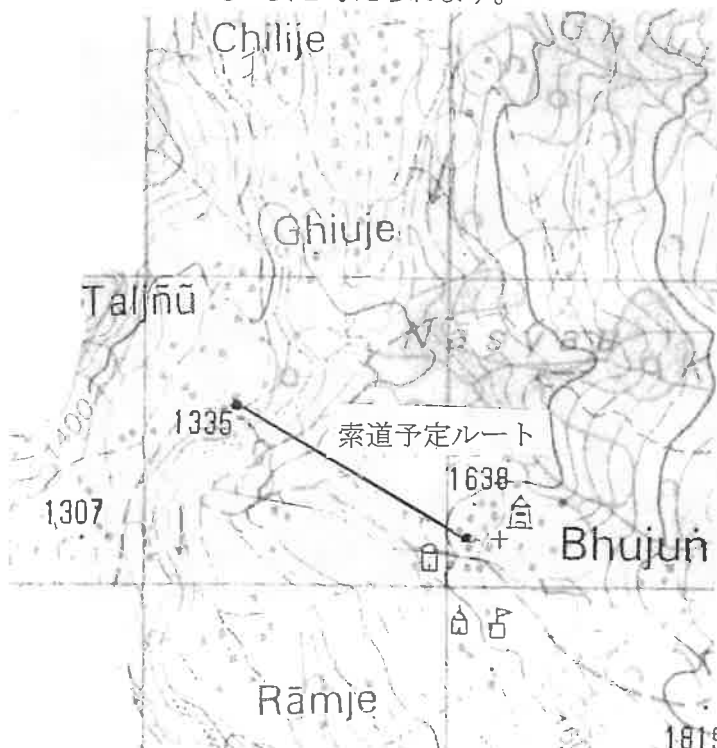
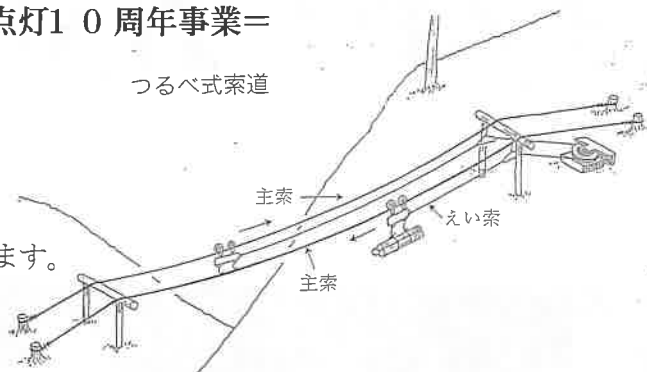
一方、本年6月、郵便貯金・簡易生命保険
管理機構（前身：郵政省）から、平成20年
度国際ボランティア貯金の寄附金配分申請についての公募案内を頂きました。

理事会では検討した結果、『点灯10周年』事業として、ブジュン村に荷物運搬作業の軽労働化を図るため、農耕地域と住民居住地域を既存発電所の電力を動力源とした、ワイヤーロープによる索道を設置する事業を計画、前記管理機構からの配分が得られるよう援助申請を行うことになりました。

ブジュン村は、村民が生活する住民区域と生活の糧を得る田畑区域が標高差約300mもあり、必要資材の運搬や生産物（穀物、副生産物、家畜用の草）の移動はすべて人々による荷揚げ、荷下ろしに頼っており、それに要する労力は膨大なものとなっています。

同村での調査（2007年10月訪問時）では、主要な働き手（成人男子）の多くが外国（インド、マレーシア、シカポール、中近東など）へ3年から5年の長期にわたって出稼ぎに行っており（村内で約60%～70%の家庭）近年、必然的に農業労働が女性、老人、子供に頼ることが多くなり、この点からも荷揚げ作業という重労働の解消は緊急の課題となっています。

更に、この事業は、村民生活の向上のみならず、今後ネパールでの索道運搬の利便性が知られるならば、急速に普及する可能性が高いと思われ、索道設置技術移転、習得はネパール全土にとっても必要と考えられます。



当事業の課題は資金調達です。徳島ネパール友好協会はブジュン村小型水力発電所建設事業では平成9年郵政省国際ボランティア貯金寄附金から、約368万円の配分（援助金）がありました。この度も是非資金援助が実現するよう、当管理機構の英断を願うものです。会員のみなさんからの応援をお待ちしております。

《事業内容など》 予定

- 1) コース = 居住区と発電所間のメイン道付近
- 2) 距離 = 約800m
- 3) 高低差約300m
- 3) 事業日程 = H21年4月～H22年3月
- 4) 費用 = 約900万円（初年度分）
- 5) 2年計画（初年度1本、2年目3本設置）

徳島ネパール友好協会理事会

Bhujung Village Development Committee Office
Bhujung, Lamjung

ブジュン村よりの
索道設置受諾文書

Reference no.



Date: 30 July 2008

To: The chairman,
Tokoshima Nepal Friendship
Association (TNFA), Japan.

Subject: Acceptation of proposal

Dear Sir,

First of all we would like to thank heartily to TNFA, Japan for the excellent "Rope way" construction proposal at our remote Bhujung village of Lamjung district. It's our good fortune to have your keen interest for the development of our Bhujung village. We are feeling very happy after hearing about your "Rope way proposal" from our senior social worker Mr. Tritha Bahadur Gurung. We also came to know that the financial as well as the technical supports will be done by TNFA, Japan.

Regarding this subject, Bhujung village level meeting and discussion was held with social workers, Mother Group, Youth club at Bhujung immediately after hearing about your "Rope way proposal". We discussed on newly proposed rope construction among the villagers, especially social workers Youth club and mother groups, and came to conclusion that the rope way will be the most suitable project to raise the economical status of the local people. So, we all from Bhujung heartily accept your proposal and promise to bear all the responsibilities at local level. Lastly, we want to thank all the TNFA, Japan members once again.

We are looking forward for your Bhujung visit near soon.
Thanking you!

Sincerely yours,
Narayan Bahadur Gurung
Ex- VDC Chairman
Bhujung VDC
Lamjung District
Nepal

2008年7月30日

徳島ネパール友好協会 代表 殿

受 諾 書

拝啓

まず最初に私たちは、ラムジュン郡の私たちの遠いブジュン村に素晴らしいロープウェイ建設をとの提案に対し心から感謝申し上げたいと存じます。

私たちのブジュン村の発展のためにあなた方が熱心な関心を寄せていただいているということは何たる幸せでありましょうか。

私たちは、このロープウェイの計画を長老のティルサ・バハドール・グルンさんから聞き大変うれしく感じました。

私たちは、技術面の支援だけでなく財政的支援も徳島ネパール友好協会からいただけるとお聞きしました。

この議題については、ブジュン村としてあなた方のロープウェイ計画をお聞きした後、直ちに全村民、特にソーシャル・ワーカー、マザー・グループ、ユース・クラブとも会議をもち論議をしました。そしてロープウェイ建設は、地域住民にとって経済状況を向上させるもっともふさわしいプロジェクトであるという結論を得ました。そして私たちブジュン村の全員は心からあなた方の提案を受諾し、私たちが現地で果たせる責任を負うことをお約束するものです。

最後に、私たちはもう一度徳島ネパール友好協会のメンバーのすべての皆さんに感謝を申し上げたい存じます。

私たちは、あなた方が一日も早くブジュンを訪問されることを願ってやみません。
感謝の念を添えて。

敬具

ナラヤン・バハドール・グルン
前ブジュンVDC議長
ブジュンVDC、
ラムジュン郡、
ネパール

“いらっしゃい・ビシュヌさん、ラジェッシュさん、ビルさん、ダワさん”

今年の8月はネパールから4人のお客さんが徳島を訪れました。

1) ビシュヌ・ゴパル・シュレスタさん 《ネパール徳島友好協会会長》

ネパールを訪問する度に「おげんきですか」の元気な声とともに、トリブバン空港まで出迎え、温かく持てなして頂いている、私たちにとって非常に大切なネパールの重鎮。

2) ラジェッシュ・ダンゴールさん 《日本料理店『ふる里』経営》

その流暢な日本語と『ふる里』での美味しい日本料理、更に絶えない「笑顔」で訪問の都度、我々を歓迎して頂いている大切な友人（紅茶専門店『マウンテン・ティ・ショップ』経営）

3) ビル・バハドール・リンプさん 《ホテル・センターポイント（タメル）経営》

4) ダワ・ラマさん 《登山ガイド（コスモ・トレック所属）》

自宅にてレストラン『Sani Restaurant』を経営、温厚な人柄、堪能な日本語、そして豊富な知識と経験をもつが、伴として著名である。

この度の徳島訪問は、

本年6月開催された当協会の総会に於いて、会長（副会長）が交替したことに伴い、ビシュヌ・ゴパル・シュレスタ氏が新三役との顔合わせも兼ね、今後の事業活動について話合うこと、更に長らく懸案となっていた、徳島の代表的伝統文化である『阿波踊り』の鑑賞と踊り体験を実現することでした。（注：別に徳島、東京でのビジネス活動もあり）

またダワ・ラマ氏については、徳島からネパールへのトレッキングの都度お世話になっている同氏を、お礼を兼ね招き親交を深めたい。（過去3回のメンバーからの声）更に、関係情報の提供、研修をお願いし、今後の活動に役立てることでした。

ビシュヌさん、ラジェッシュさん、ビルさんは8月10日（日）に来徳

- ① 当協会主催の歓迎会に出席（8/10、阿南市：ロイヤル・ガーデンホテル、32名出席）
- ② 県内の企業、事業所の視察と名所旧跡観光
- ③ 県庁、徳島新聞社等への表敬訪問
- ④ 阿波踊り（選抜大会、市役所前棧敷）見学と、ペリカン連（日通）での踊り体験

などの活躍のあと、15日（金）に次の用務先である東京に旅立たれました。

そしてダワさんは、8月3日（日）に来徳、同夜、協会役員会による歓迎会に出席し、

- ① 徳島、香川両県の観光と関係団体、トレッキングメンバー、会員との懇親会
- ② 剣山登山（10名）、穂高岳登山（5名）で日本の山岳自然を満喫
- ③ 徳島県勤労者山岳連盟・当協会共催（20名）、及び徳島山と友の会（36名）での『ネパールヒマラヤトレッキング&登山の夕べ』で講演
- ④ 県庁、徳島新聞社等への表敬訪問
- ⑤ 阿波踊り（選抜大会、市役所前棧敷）見学と、ペリカン連（日通）での踊り体験
- ⑥ ダワさんの上記活躍が四国放送テレビの『おはようたくしま』で紹介された。

（8/29（金）に約15分）などの活躍のあと、15日に大阪に移動した。

《追記》 ビシュヌさん等4名の方より「この度は、本当にお世話になりました。非常に楽しい経験が出来ました。協会メンバーをはじめ皆さんに宜しくお伝え下さい」とのコメントを頂きました。私からも皆さんにお礼申し上げます。

事務局 天野 親聡 記

穂高岳登山（8・9）
（北穂高岳山頂にて）



県庁表敬訪問
（県庁玄関にて）
8月13日（水）



阿波踊り練習風景
（徳島公園鷺の門広場）
8月14日（木）



剣山登山（頂上にて）
8月6日（水）

ネパールの登山ガイド・ダワさん

剣山からの景色感動

山の会会員と登頂

友好協 阿波踊りに合わせ招待

徳島山と友の会がネパールの山を登る際に登山ガイドを務めたダワ・シマさん(四巴)が来県し六日、友の会のメンバー九人とともに剣山(一、九五五メートル)に登った。



徳島山と友の会のメンバーと登山を楽しむダワさん(手前から2人目)＝剣山

ダワさんは日本語が堪能で、これまでに日本人登山隊六十三組を案内している。友の会がエベレスト近くのカラパタールに登った際などにガイドを務めた。

ダワさんは、登山口の見下ろしから約二時間かけて剣山頂上まで登った。途中周囲を見渡しながら「二千メートルの高さでこれだけ美しい景色を見られることは素晴らしい」と魅力を語った。

来県は、友の会の安全対策委員長で徳島ネパール友好協会の天野親聡事務局長(六巴)らが「お世話になったお返しに」と働き掛け、阿波踊りに合わせて招待した。ダワさんは十七日まで滞在予定。長野県の穂高岳を登るほか、徳島市で登山団体関係者を対象にした講演会なども行う。

ネパール訪問団 「踊り文化に感動」

副知事表敬 あす初踊り



里見副知事を表敬訪問するネパール徳島友好協会の訪問団＝県庁

阿波踊り視察のため来県しているネパール徳島

友好協会の訪問団員が十三日、県庁に里見光一郎副知事を表敬訪問し、消防車や救急車の提供など徳島からの援助に謝意を示した。

訪問団は、友好協会のビシユヌ・ゴバル・シユレスタ会長ら四人。十二日に阿波踊りを初めて見たシユレスタ会長は「子どもからお年寄りまで参加できる踊り文化を守り続けていることに感動した。ネパールの国民にも、ぜひ見せてあげたい」。里見副知事は「この機会にネパールと徳島の交流をますます深めてほしい」と歓迎した。

一行は十四日の阿波踊りに企業連の一員として参加、十七日に帰国する。

「安全に山楽しんで」

登山ガイド 徳島市で講演会

徳島・ネパール友好協会と徳島県勤労者山岳連盟は十一日、ネパールで登山ガイドをしているダワ・ラマさん(四四)を招いた講演会を徳島市中央公民館で開き、約二十人が耳を傾けた。

ダワさんは、スライドを使ってヒマラヤの美しい山々やトレッキングコースを説明し、「五十、六十代の日本人が登りにやってくるが、高山病にかかりやすい。安全に山を楽しんでもらうためにガイドをしている」などと語った。

また、キャンプ地や山村での暮らしぶりなども紹介。参加者の「日本の山との違いは」などの質問に、「美しい景色はどちらも一緒。でも、ヒマラヤより低い山なのに雪が残っているのが不思議で面白い」と話した。

ダワさんは、徳島山と友の会がネパールの山に登る際に登山ガイドを務めるなど、これまでに日本人登山隊六十三組を案内。徳島・ネパール友好協会が「お世話になったお返しに」と阿波踊りに合わせて招待し、三日から来県している。

ネパール人登山ガイド

ダワさん初踊り

徳島ネパール友好協会に招かれて来県している登山ガイドのダワ・ラマさん(四四)が十四日、市役所前演舞場で初踊りを楽しんだ。

「徳島の素晴らしい伝統文化に触れ、いい体験になった。ぜひ来年も踊りたい」と、阿波踊りのとりこになっていた。

ダワさんは、これまでにネパールで県内の登山愛好家ら日本人登山隊六十三組のガイドを務めた。「お世話になったお返しに」と徳島ネパール友好協会の招待を受け、三日に来県した。

ダワさんは、阿波踊り視察に訪れたネパール徳島友好協会のビジュ・ユ・ゴバル・シュレスタ会長ら三人と企業連で踊り込み、「踊り子も観客も笑顔が印象的。盛り上がり



笑顔で演舞場に踊り込むネパール人登山ガイドのダワさん(左から2人目)＝市役所前演舞場

「阿呆」に国境なし

徳島市の阿波踊り3日目の14日は、たくさんの外国人たちが踊りに参加し、国際色豊かな演舞場となった。



ネパールから来日している「ネパール徳島友好協会」の4人がこの日、初めて阿波踊りを体験した。西国の子どもたちが相互訪問したり、徳島側から使われなくなった消防車両を寄付するなど、10年以上前から交流がある。これまで、阿波踊りの時期に来日したことはなかったという。

ぶっつけ本番だったが、企業連に動きを教わり、ネパールの国旗を振りながら市役所前演舞場で踊り切った。来日

来社

ユヌ・ゴバル・シュレスタ氏(ネパール徳島友好協会会長)ラジュ・シュ・ダン・ゴル氏(同役員)ビル・バハドール・リンフ氏(同役員)ダワ・ラマ氏(登山ガイド)来県あいさつ。

外国人参加、国際色豊かに

は今回が4度目というビジュヌ・ゴバル・シュレスタ同会長(59)は「観客席を眺めたら、みんな笑顔だった。文化がしっかり守られている印象を受けた」と話した。

一方、同じ演舞場で県内在住の外国人80人を含む総勢250人で踊ったのは、県国際交流協会などでつくる「あらしそわ連」。県内の中学、高校に外国語指導助手(ALT)として来ている人や留学生らが今年も集まった。

同市内のホテルで法被や浴衣姿に着替えると、踊り子に様変わり。日本に長期出張中で、初めて踊ったインド人会社員、アトウル・シャルマさん(32)は、「前の人の動きをまねしたらスムーズに踊れた。阿波踊りのCDを買ったので、国に帰っても思い出せる」と喜んでた。

来社

杜和彦氏(徳島ネパール友好協会会長)就任あいさつ。

新会長に杜和彦氏が就任

＝第13回定期総会報告＝

第13回定期総会は6月7日（土）、板野郡北島町のサンライフ北島で開催されました。総会では、会長あいさつに続いて2007年度事業報告として、

- 1) 昨年10月に訪問したブジュン村、バーチョーク村への親善使節団派遣報告
 - 2) エベレスト街道トレッキング報告
 - 3) 上記2事業に関する『2007・ネパールへの旅』写真展の開催（本年2月開催）
 - 4) 徳島からネパールへの少年少女ホームステイ派遣事業
などがあり、続いて2008年度事業計画、
- 1) 2009年12月に迎える「ブジュン村点灯10周年」記念事業（行事）を企画し、その実現に向け努力する。
 - 2) 長年、懸案となっている、ブジュン村発電所完成記念報告書、同記録書、同環境・生活調査書の発刊に最大限、力を注ぐ。
 - 3) 登山・トレッキングガイド、ダワ・ラマ氏等、ネパールからの関係者招聘に努める。などが提案され、出席者の賛同で承認されました。また、イベントとして鎌田博文氏から、同氏撮影の写真を見ながら『エベレスト街道トレッキング報告』がありました。
- 尚、役員改選では、理事11名（新任2名）と監事2名（留任）が選出されました。そして、第1回理事会（6月28日）で会長に杜和彦氏（新任）、副会長に暮石洋（留任）、山田善仁氏（新任）が互選されました。



徳島ネパール友好協会

☎779-3211
徳島県名西郡石井町藍畑字西覚円718-5
TEL・FAX 088-674-4168 TEL 088-675-0835

○事務局よりのお願ひ 会費未納の方は、下記に振込んで下さい。

振込先

（銀行振替）阿波銀行 石井支店 （普）1009369 徳島ネパール友好協会

（郵便振込）石井郵便局 01600-2-52742 徳島ネパール友好協会

徳島ネパール友好協会メールアドレス : tonfa@mxi.netwave.or.jp

吉住千亜紀さん開設ホームページ、アドレス

[星とネパール] <http://www3.justnet.ne.jp/~volty/~private>

[徳島ネパール友好協会] <http://www3.justnet.ne.jp/~volty/TONFA/t-nepal>